

履修単位基準（最低単位数）

履 修 科 目		課 程		学校教育教員養成課程			
		免 許 状		小一 中一	小一 中二	小一 幼二	小一 特支
教養科目		36					
専攻科目（卒業研究4単位を含む）		24	20	23	31		
小学校教科		10	10	10	10		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2	2	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論（教職トライアル）	2	2	2	2	
	教育に関する社会的，制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	2	2	2	2	
	幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・学校心理学	1	1	1	1	
	特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	1	1	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	2	2	2	2	
	教科及び教科の指導法に関する科目						
		小学校指導法	20	20	20	20	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	中学校指導法	8	2			
		保育内容の指導法			6		
専門科目	道徳	道徳の理論及び指導法	2	2	2	2	
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2	2	2	
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学・技術	2	2	2	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導の理論及び方法	2	2	2	2	
	幼児理解の理論及び方法						
	教育相談 カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	幼児理解と教育相談			2		
教育相談 カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談及び進路指導	2	2	2	2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育実践に関する科目	教職実践演習	教職実践演習	2	2	2	2	
	教育実習（事前・事後指導を含む）	小学校教育実習（教職ﾌﾗｲｲﾝｸﾞ）	4	4	4	4	
		中学校教育実習（教職ﾌﾗｲｲﾝｸﾞ）	4	4			
		高等学校教育実習（教職ﾌﾗｲｲﾝｸﾞ）					
		特別支援学校教育実習（教職ﾌﾗｲｲﾝｸﾞ）				2	
		幼稚園教育実習（教職ﾌﾗｲｲﾝｸﾞ）					
		教育実習事前事後指導（幼・小）	1	1	1	1	
		教育実習事前事後指導（中・高）	1	1			
教育実習事前事後指導（特別支援学校）				1			
大学が独自に設定する科目	教職リサーチ	2	2	2	2		
	教職リサーチ	2	2				

	教職インターン				
	教育リーダー実践				
	教育リーダー実践				
	教授臨証入門				
	幼児指導法				
	保育内容概論				
	保育内容各論				
	小計	64	58	57	52
	計	98	88	90	93
	自由選択科目	1	11	9	6
	合計	135	135	135	135

(注)

1. 学校教育教員養成課程(学校教育講座及び特別支援教育講座を除く)では、卒業に当たって、小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状を取得しなければならない。
2. 学校教育講座では、卒業に当たって、小学校教諭1種免許状を取得するとともに、中学校教諭2種免許状又は幼稚園教諭2種免許状を取得しなければならない。
3. 特別支援教育講座では、卒業に当たって、小学校教諭1種免許状及び特別支援学校教諭1種免許状(聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)を取得しなければならない。
4. 自由選択科目は、教養・専門科目の最低必要単位数を超えて取得した単位数及びネットワーク大学コンソーシアム岐阜の単位数を加えることができる。ただし、教養科目は4単位までを含めることができる。
5. 高等学校教育実習、幼稚園教育実習及び教職インターンの各2単位は、自由選択科目とする。
6. 講座における、履修単位基準は別に定める。
7. 教職リサーチ 及び は、次世代地域リーダー育成プログラムの「地域志向科目群」の科目とし、教職論(教職トライアル)及び教職インターンは「地域実践科目群」の科目とする。
8. 学校教育教員養成課程(特別支援教育講座を除く)では、卒業に当たって、7日間(特別支援学校で2日間及び社会福祉施設で5日間)の介護等体験を行わなければならない。
9. 特別支援教育講座は、特別支援学校教育実習に参加するため、介護等体験を要しない。